



Vol.01

Kizuna Tsushin

通信

大原やすお 福岡市議会議員《早良区》



ご挨拶

皆さま方の力強いご支援により市政に送り出していただき、市議会議員として5月2日に初登庁いたしました。現在4ヵ月目を迎えております。その間、臨時議会、6月定例議会、常任委員会が開催され、定例議会では初めて議場の演壇に立ちました。県議を経験したものの、県とは違った雰囲気、いささか緊張しました。内外ともに大きな転換期を迎えているなかで、高島市長は「人と環境と都市が調和のとれたまちづくり」の実現を目指しています。その「調和のとれたまちづくり」のモデル区として、都市部(北部)、住宅街、そして背振山系を背景に豊かな自然が広がる田園地帯(南部)と古い歴史を持つ早良区は、これから大きな可能性を持っている地域だと思えます。その早良区を拠点に、それぞれの地域文化や人間関係を踏襲しながら、みんなが生きいきとして生活が出来、子供たちが夢と誇りを持てるような地域社会づくりをめざし、活動していきたいと思っています。皆さま方の変わらぬご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

大原やすお

大原やすおが考える「絆」の力

現代社会は核家族化が進み、明るい時間には家に誰もいなかったり、隣にどんな人が住んでいるのかさえ分からない。この地域コミュニケーションの崩壊がもたらすものはあまりに大きなものです。犯罪の多発も地域コミュニケーション不足によるものが大きく、また、地域防災意識の低下や体制の不備もそうです。今こそ、昔のような地域コミュニケーションを取り戻し、安心・安全に暮らせるまちづくりを目指します。

地域自治会の活性化

本来の地域コミュニケーションを取り戻すには、地域自治会を活性化させることが不可欠です。現状は市から地域自治会への要望が多く、忙殺されてしまっています。「地域ボランティアの負担軽減」を実現し、地域自治会が主体的に本来の役割に時間を割けるようにし、活性化を図っていきます。

高齢者の経験や知恵を活かしたコミュニケーション

高齢者の経験や知恵は大きな財産であり後世に残すことも重要なことです。地域のボランティアや中山間部での活動で子どもたちに自然の大切さや昔の遊びを教えていただければ、高齢者の方たちの働く場や活躍される場を作れ、地域自治も活気が出て一石二鳥です。

コミュニケーション社会の復活が、犯罪を未然に防ぎ、防災意識を高めることで被害を最小限に留めることができます。



今年も各校区や町内で夏祭りが行われています。大原市議も皆さんと親しくできましたら…と出来る限り参加させていただいています。写真は、早良区次郎丸・埴安神社の伝統ある夏祭り、7月24日に行われました。当日は好天気、子供たちは太鼓を打ったり、おみこしをかついだりと、とても元気でした。

地域座談会を行っています

地域のニーズを直接伺いたいと各地域で座談会を行っています。「課題をしっかりと把握し調査研究し解決を目指していく」。大原市議の使命・願いでもあり喜びでもあります。どこへでも、何人の集まりでも参ります。どうぞ皆さんの輪の中にお声をかけてください。

東日本の大震災、一日も早い復興を願っています。皆様方からの義援金は、郵便局を通じ届けました。有難うございました。



夏だ、祭りだ、おみこしだ！ぼくらの町のお祭りだ。大きな太鼓がどーんと！

おみこしわっしょい

女性部の代表者会開く

市議・大原やすおを支援して下さる後援会の女性代表者が集まって、今後の活動について話し合いが行われました。その中で①校区ごとの集まりをしたい。②サークルなど地域を超えた集まりもいいのか？③女性としての組織を作りましょう！などなど活発な意見や提案。それにはまず、お顔を覚えやすくすることからと、バスハイイクの計画も進んでいます。「やつぱり本当の力は女やもんね」と優しい笑顔から力強い言葉が…。このパワーに後押しされたら議員も頑張らないといけませんね！

大原市議を囲み 地域代表者会開く

「市議活動を皆さんと共に…」と、後援会の地域代表者会が行われました。同区内の各地域から代表者40名が出席。重松後援会長の挨拶のあと、同市議が「地域発展のためには皆さん方のご意見とご指導が必要です」。このあと同議員を囲み懇談、出席者の紹介や現況・課題など出し合い意義深い集いとなりました。



お気軽にお立ち寄りください。
大原やすお事務所
福岡市早良区次郎丸4丁目9-37 (サンラーク次郎丸)
TEL 092 (863) 9567
FAX 092 (863) 9568

皆様のお陰で当選

これからは頼れる市議で…



後援会長 重松 森雄

暑い日が続きますが皆様方には、お変わりなくご健勝のこととお慶び申し上げます。四月の統一地方選挙では、皆様方のご支援により市議会議員に当選させて頂き、厚く御礼申し上げます。

大原議員も当選からはや四ヵ月経ちましたが、早良区の現況と課題について早速議会でも質問し、さらに福岡市の課題について、取り組んでいます。

これからも皆様方との絆を緩めることなくより親しめ頼れる議員をめざし努力していくものと信じています。皆様方の一層のご指導、ご鞭撻を願いますと共にご健勝をお祈りいたします。

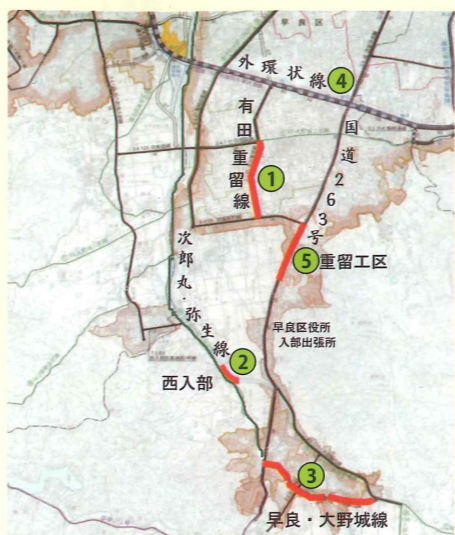
大原やすお議員 初の一般質問

自民党市議団を代表し

国道263号の 渋滞緩和対策について

県議から転身した大原市議、さつそく6月議会において自民党市議団を代表して議場の演壇に立ちました。質問と答弁の骨子は以下のとおりです。

〔質問〕 国道263号は、福岡市と佐賀市を最短ルートで結ぶ主要幹線道路としての役目を果たしていますが、近年は渋滞がひどく沿線住民に不便をきたしています。そこで渋滞緩和に向けた道路整備の状況と、早良区南部における国道と周辺道路のネットワーク化に



どのように取り組んでいくのか、さらには同国道の機能強化についてお尋ねします。また県道、金武飯場線の整備を要望します。



〔答弁〕 渋滞対策については、国道のバイパス的役割を担う路線として①「有田・重留線」、②「次郎丸・弥生線」の西入部工区、③国道と那珂川町とを結ぶ「早良大野城線」は平成26年度完成をめざし整備を行っている。④野芥口交差点については外環状道路の交通実態調査の結果をみて対策を検討していく。⑤重留工区、830mについては平成23年度完了を目指し歩道整備を行っている。引き続き都市計画道路の計画的な

整備を進め、263号を基幹とした道路のネットワーク化に取り組んでいく。

早良区南部における運動公園・グラウンドの整備について

〔質問〕 早良区では野球やソフトボール等の大会が出来る大きなグラウンドは百道中央公園しかなく、全市的に見た場合、施設の配置状況は、はなはだ不均衡であります。その是正と整備が必要であることを指摘させていただき

〔答弁〕 早良区南部はほとんどが市街地調整地であり、農地などとの調整もあることから、整備の手法については関係局とも協議しながら調査していく。

ハイキングコースの整備について

〔質問〕 早良区南部の自然豊かな背振山系を生かしたスポーツ・レクリエーションを振興するという観点からハイキングコースの整備と共に駐車場・トイレの設置について要望します。また森林基幹道路のコース利用と早期完成について要望します。

〔答弁〕 ハイキングコースの施設整備については、土地確保の可能性、事業主体や手法なども含めて、区役所等の関係部署や地元との連携を図りながら検討を進めていく。

イノシシによる被害対策について

〔質問〕 近年、中山間地域を中心にイノシシによる農作物被害が拡大し農業意欲が削がれ深刻な状況になってきていますが、その対策についてお伺いします。

〔答弁〕 進入防止対策と捕獲を複合的に実施するために、ワイヤーメッシュ柵等の防護柵の整備のため、国の「鳥獣被害緊急総合対策事業」の周知を図る。捕獲活動として猟友会などで組織されたものを支援すると共に、箱罠の設置箇所を増やす。平成23年度はイノシシによる農作物の被害額を20年度の7割以下を目標として達成に向け努力していく。



詳細は福岡市のホームページをご覧ください。



大原市議、常任委員会の 第2委員会に所属

福岡市議会には行政の各部門にに応じ、五つの常任委員会があり、大原市議は第2委員会に所属しています。担当内容は子ども育成、社会福祉、保健衛生、教育などで、こども未来局、保健福祉局、および教育委員会が主管する事項について詳細に調査や審査を行います。7月下旬、今年4月に竣工した高崎市総合保健福祉センター（写真）他2施設を視察。とても参考になりました。この「常任委員会」は、第2委員会のほか、第1委員会は国際交流、財政、第3は商工業、農林水産、第4は住宅、都市計画、第5はごみ、環境保全などです。



第2委員会で高崎市総合保健福祉センターを視察

大原議員は第2委員会のほか次の会にも所属しています。
特別委員会
都市問題等調査特別委員会
九州大学移転・跡地対策協議会
その他

- 福岡市早良保健所運営協議会
- 福岡市社会福祉協議会 評議員
- 福岡市食育推進会議
- 福岡市食育推進会議
- 福岡県共同募金会福岡市支会

室見川を再生する会 広域的視点で推進

「室見川を再生する会」が数年前に組織され活動されています。これまで漁業関係者や「福岡県ホタルの会」「メダカを守る会」など多くの



再生が進められている室見川（写真は矢倉橋付近）

人たちによって環境浄化や水生動物の育成などが行われてきました。さらに広域的な視点で推進していくというわけです。幹事は山崎惟義氏（福

里やまと町をつなぐ 竹林の再生活動

岡大学）。県土木部でも「郷土の水辺整備事業」を展開中で、大原市議もこれに加わり県・市とのパイプ役としても協力したいと張り切っています。

早良区南部と市街地との交流を積極的に展開しているユニークな組織があります。「NPO法人 里まちサイクルコミュニティ」です。会員は40名で、里山の荒れた竹林を整備しながら不要になった孟宗竹を破砕機にかけてチップ状にする。これを加工して堆肥とし、町の農家や家庭菜園の方々に使ってもらっています。また、この堆肥で繁殖したカブトムシなどは高取、原飯倉校区の子供たちにプレゼントして喜ばれています。



孟宗竹は破砕機にかけてチップ状になっています。これは福岡市の「エコハッスル事業」の一環でもあり、大原議員も参加し、しっかり汗をかいています。